

＝ 病院の理念 ＝  
人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

# 東葛の健康

№ 477 2024年 5月号  
【毎月5日発行】  
定価 1部20円  
発行 東京勤労者医療会東葛病院  
院長 井上 均  
〒270-0153 千葉県流山市中102-1  
TEL 04 (7159) 1011(代)  
FAX 04 (7158) 9202  
http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/

## 東葛の医療

## 外科



ストレス・サ  
ンクス医師

良い外科医とは

皆さん、どうい  
う外科医が良い外科医で  
しょうか？良い外科医の  
定義は様々だと思いま  
す。

「Big Surgeon Big Cut」といわれるほど昔は大きい手術痕ほど良い外科といわれる時代がありました。お腹に大きな開腹の傷があったり、胸に大きな開胸の傷があったりすると「某病院の名医の某先生に手術してもらったのだ」と自慢話がありました。

しかし、1987年にフランス・リヨン郊外に住む外科の開業医フィリップ・ムレー博士(P. Mouret)が初めて行った腹腔鏡下胆嚢摘出術から鏡視下手術の歴史の幕が開きました。1990年代には大腸や胃の領域でも鏡視下手術が広がり、鏡視下手術による「Minimal Invasive Surgery」(最小限の侵襲による外科治療)という時代に突入しました。「いかに小さく、少ない傷で手術ができるか」と外科会では競争(「ええ勃発」)、「Reduce d port/ Single port Surgery」(腹腔鏡/単孔式内視鏡手術)が時

# 最新の外科診療 ～外科診療の変遷を紐解いた先に見えるもの～

代のトピックになりま  
した。

### ロボット手術の時代

外科手術の進歩は医療機器の進歩に密接に関係しています。手術支援ロボットの開発・実用化と共に2000年代になって欧米ではロボット手術が本格的に発展・普及をし始めました。日本においても少し遅れを取りながらも多くの領域でロボット手術が保険収載され、より一般的な治療になりつつあります。

### 外科医の機械化

「神の手を持つ外科医」とテレビで特集されたらいいのはドラマ化されたりすることがしばしばあります。「高難度な手術を上手に施行する」と外科医の腕に光が当たることがは外科医にとってうれしいものです。なぜなら、習得した技術力はその外科医の財産であり、良い外科医の第一

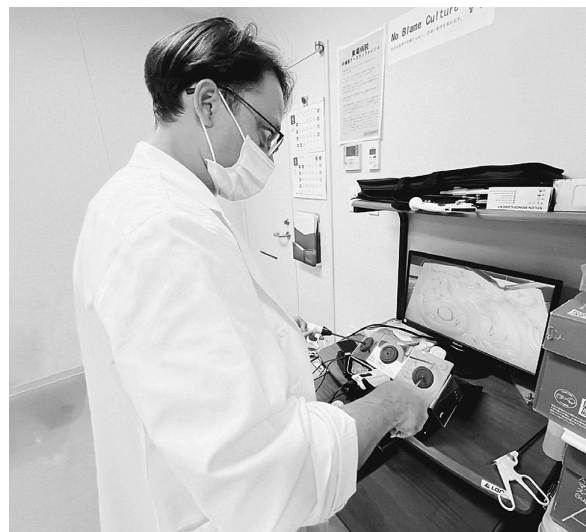
少でできるといふメリットがあります。ロボット手術のもう一つの大きなメリットは遠隔手術が可能にしていることとあります。「東京にいながら沖縄の病院での手術ができる」と夢のような話ですね。

「神の手を持つ外科医」とテレビで特集されたらいいのはドラマ化されたりすることがしばしばあります。「高難度な手術を上手に施行する」と外科医の腕に光が当たることがは外科医にとってうれしいものです。なぜなら、習得した技術力はその外科医の財産であり、良い外科医の第一

の特徴と言っても過言ではありません。しかし、技術のみを追求した先に病気のみにみて患者全体が見えない、機械化した外科医があふれてしまう可能性ががあります。

「A good surgeon knows how to operate, a better surgeon knows when to operate」(良い外科医は手術の仕方を知っている。より良い外科医は「いつ手術をしたらよいか」を知っている。だが、最良の外科医は「いつ手術をしてはいけないか」を知っている。従って、手術するための技術やタ

フランスの大学の先生が「良い外科医の定義は？」という題名で研究し2023年に「フロンティア誌」に発表しています。その研究によるとよい外科医の特徴は①技術力②丁寧さ③患者への共感力④患者とのコミュニケーション力⑤患者に聴く力であることとまとめられています。



この研究は外科医、手術室の医療従事者、手術室以外の医療従事者、患者に行ったアンケート調査の結果です。

外科医の多くが技術力を良い外科医の特徴としているのに比較して、その他の医療従事者や患者は聴く力、コミュニケーション力や共感力など人間性や倫理性をより大きな特徴と答えています。

### 誰一人取り残さず最善の医療を

東葛病院では患者に最善の治療を届けるために日々の学びを大切にしています。外科医である以上技術向上のため研修医は毎日の研修に、指導医はその研修医の指導に励んでいます。

最前線の医療技術に引きを取らず、東葛病院で1992年から腹腔鏡下胆嚢摘出術、2000年代には大腸や胃の手術も鏡視下で行いはじめ、患者に質の高い医療を提供しています。加えて私は、健康相談会に参加したり、また電話で相談に

またある日の電話内容には私も驚きました。都内の病院に入院中の重症ALSのネパール人患者からでした。

乗ったりと院外でも外科に限らずできることをしております。ある日の電話は無保険のネパール人の医療費の相談でした。日本にいるご家族のところに遊びにきた際、ネパールで受けた胃がんが再発し日本で抗がん剤治療を受けているこという内容でした。保険がなければ窓口負担が100%なのはしょうがないかと思っていましたが、どうも外国人患者は200%〜300%請求されることを初めて知りました。東葛病院に受診してもらい100%窓口負担で抗がん剤治療、その後根治手術を受けました。医療費が半分で済み、さらに癌の根治治療もでき、満足して帰国しました。

「地域に密着した誰一人取り残さない最善の医療サービスへのアクセス」は東葛病院のモットーです。地域を越え、人種を越え、必要とされるところに手を差し伸べるべく「なんでも相談会」、「外国人無料健康診断」、「無料低額診療事業」、「ベッドの差額料はいらない」など、社会的弱者に最善の医療を展開しています。

先日、車で出かけたが渋滞にハマってしまった▼渋滞を覚悟していたもののイライラする自分がいる▼アリの行列は非常に多くのアリが連なるが、決して渋滞は発生しない▼アリの行列に渋滞がないのは、アリが前者との間隔を詰めないのが理由だと発見した▼アリの知覚機能は臭いなどに対するごく限られたセンサーしかないのにも関わらず、身の周りの仲間数匹に配慮することにより、群れの行動を最適にしているのだそうだ▼

「お先にどうぞ」がアリにはある▼人間の起こす渋滞は「我先に」という人間の心理こそが渋滞の原因である。列を乱さず間隔を取り移動すれば渋滞は7割減らすことができるという▼例えば渋滞情報を知ると抜け道にといったようにいかに人間は個人だけを考慮して行動しているのか。とは言うものの無理やり横から入ってくる車を絶対に入れてやるものかと思ってしまうが、イラっとしながらも入られてしまう自分がいる▼アリには一生なれないだろう。(横)

## 聴診器



「お先にどうぞ」がアリにはある▼人間の起こす渋滞は「我先に」という人間の心理こそが渋滞の原因である。列を乱さず間隔を取り移動すれば渋滞は7割減らすことができるという▼例えば渋滞情報を知ると抜け道にといったようにいかに人間は個人だけを考慮して行動しているのか。とは言うものの無理やり横から入ってくる車を絶対に入れてやるものかと思ってしまうが、イラっとしながらも入られてしまう自分がいる▼アリには一生なれないだろう。(横)